

令和3年度 第2回 境港市環境審議会 議事録（要旨）

- 日 時：令和3年12月17日（金） 午前10時～午前11時50分
- 場 所：境港商工会議所 大ホール
- 出席者：別紙名簿のとおり
- 内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
 - ・開会にあたり、伊達会長があいさつ
- 3 議事

（1）境港市環境基本計画（素案）について

境港市環境基本計画（素案）について、事務局が資料に従って説明した

（2）意見交換

（会長）

ただいま説明いただきました境港市環境基本計画素案につきまして、ご議論を皆さんから頂きたいと思います。ご意見やご質問等ありましたら、お願いできればと思います。

私からよろしいですか、事務局にお伺いしたいのですが、先ほどの11ページで、市の事務事業っていうのは境港さんの事務ということですか。

（事務局）

はい、そうでございます。境港市温室効果ガス削減実行計画事務事業編というのを作っております。こちらの方で数字を集計しまして、目標を定めて取り組んでいるところです。

（委員）

計画の素案を、読ませていただいたのですが、五つあります。

1点目が、まず5ページ。前回のこの委員会で、計画期間を通常10年にするところを5年にしますとご説明がありました。その理由は社会情勢の変化に対応するためということですので、ここの文章は、それを強調したほうが分かりやすいのかなと思います。それが1点目です。

2点目は、20ページになります。20ページのところに主な指標が三つ書いてありますが、他のセクションでも指標が書いてありますけど、根拠が下の部分に載っていますが、ここの部分はないのかなと思います。例えば、一斉清掃の参加者数で468人が500人と書いてあるのですが、ここは根拠が欲しいなというふうに思いました。これが2点目です。

3点目です。22ページの豊かな海洋の保全というところですが、観光客や釣り人に海洋にごみを出さないような、啓発をしますみたいなことを入れてはどうかと思いました。

4点目です。27ページになります。環境に関する情報提供の充実ですが、海とくらしの史料館を活用されてはどうかと思いました。例えば海洋環境について、パネル展示など、何

かコーナーをつくれなれないかと思えます。

最後、5点目です。42ページにありますが、本審議会は、本計画の進捗状況の点検評価を行うとありますが、どういうタイミングで、点検するのか教えて下さい。

(事務局)

ご指摘を頂きましてありがとうございます。今後、これらを盛り込むことを検討させて頂きたいと思えます。点検のタイミングということですが、基本的に年1回を予定しております。

(委員)

2点ほど感想とか意見を述べさせて頂きます。まず1点目、エネルギーの地産地消とあわせて、お金を地域循環させていくっていうことも大事なことはないかと思えます。エネルギーを地産地消するには、どうしてもお金もかかります。雇用の促進も含めて、地域内でお金の地産地消ということもしていったらいいかと思えます。

もう1点、32ページですが、ゼッチとか省エネリフォームについて、鳥取県のネストという省エネ住宅を促進する制度もありますが、鳥取県の制度ともリンクさせてはどうかと思えます。

(事務局)

エネルギーの地産地消について、お金を回して雇用も生むということ、これは盛り込ませて頂ければと考えております。それからご紹介していただきました鳥取県のネストにつきまして、県の計画との整合をとるとしてしておりますので、表現を検討させて頂きます。

(委員)

11ページでございます。市域から排出される二酸化炭素排出量について、県の削減目標が40%なのですが、60%に引き上げるという話が出ておまして、それからすると、この平成25年度比33.1パーセントでは足りなくなるのではないのでしょうか。

それから、県の令和4年度当初予算の目玉事業の一つが二酸化炭素排出量の削減、高気密で高断熱の住宅の建築に係る補助金ですとか、技術者の育成。それから、事業所用の太陽光発電の導入ですとか、EV車を公用車とか社用車に変えていくことを促していく。

また、県内自動車産業の下請け企業の技術とか人の育成ということに力を入れていきたいと考えております。

もう一つ、プラスチックの排出の削減ということが上がっています。マイボトルを持参した場合にポイント還元することなど、広報事業を検討しているところです。

今回の基本計画はあくまで概要ですので、今度、策定される温室効果ガス排出削減実行計画区域施策編を作られるにあたっては、そういうところを踏まえてされればいいかと思えます。

(事務局)

ありがとうございます。非常に有益な情報をいただきました。11ページの目標の算出方法ですが、国の2030年の温室効果ガス46%削減から逆算して、境港市でも2030年で

46%削減に届くように、令和8年は33.1%というふうに設定したところでございます。ご指摘の点につきまして、県のご担当の方に確認を取ってみたいと思います。

(会長)

先ほど県の状況をご説明顶きましたが、重点目標にある脱炭素社会の実現のところで、プラの削減は結局脱炭素に繋がるので、どこまで書くか表現は難しいところですけど、もう少し表現をご検討いただければいいのかなと思いました。

あと農業のご紹介もありましたが、農業施策に関する事などはあまり触れられていない気がします。農業関係のことももうちょっとあるといいのかなと思います。

(委員)

細かなところがいくつかあります。11ページのところから、この環境基本計画を、例えば高校生とか大学生とかに見てもらおうということを想定した場合、この現況値に書いてある表記の仕方がぱっと見て分からないと思いますので書き方をちょっと工夫されたほうがいいのかと思います。

今度は食品ロスのところの19ページです。提案ですが、今、農林水産省の方で、手前取りという取り組みをされています。これは何かというと、すぐ食べるものだったら、消費期限の近い手前にあるものから取りましょうという取り組みです。こういうふうなものをやれば、事業所さんと、消費者さんの両方の意識改革になりますので、そういうことを利用しながら、食品ロスを削減するというふうにもっていてもいいのかなと思います。

21ページです。ここも提案です。環境省の事業で、海岸漂着物等地域対策推進事業という海岸に溜まったプラスチックごみの焼却補助とかをされていますけど、そういう補助金を取りに行くことも考えて、例えば、海洋プラスチック問題に取り組むという文言をどっかに入れてみてはという提案です。

23ページです。(2)のところの文言で法律に従いというのが、何かここだけ出てきますが、他のところも、法律に従うのは当然で、ここだけ法律に従いますよっていうふうにも取れますのでその辺の表現を工夫されるといいのかなと思いました。

続いて、その下の(3)のところです。不適切になってしまった場合のことが書いてありますが、不適切になる前に、未然に防ぐという取り組みも必要だと思いますので、ぜひそのあたりを追記していただければと思います。

30ページの以降ですが、市民に求められる行動について、イラスト入りで非常に分かりやすいと思いますが、このイラストの著作権は大丈夫でしょうか。そのあたり十分確認されたほうがいいと思います。私からは以上です。

(事務局)

具体的なお指摘を頂きましてありがとうございました。いずれも検討をさせていただきます。

イラストの件ですが、これは購入したソフトからのもので、著作権的には、大丈夫だというふうに確認しております。

(委員)

19ページの食品ロスのところですけど、学校における食育の推進ということで、小学校との連携で、これ以外に保育園とか中学校には、拡充できないかというのが一つ。

具体的な市民の行動のところで、30ページですね。(1)の省エネ電気への切り換えということで、市民に省エネ電気への切り替えてどうすればいいのか具体的なアクションが分かりにくいのかなというふうに感じました。

あとは市民の求められる行動のメリットがちょっと読みにくいのかなと感じたところです。少し整理していただいて、より市民の方が具体的にどういった行動をしたらどういったメリットがあるかっていうのを、わかりやすくしていただけたらと思います。以上です。

(事務局)

食育のところですが、ご指摘の通り、学校としておりますので、小中を含めることを検討したいと思います。

市民に求められる行動のところですが、国から出されているゼロカーボンアクション30をほぼそのまま入れているところですが、確かにご指摘の通りちょっとわかりにくい部分がありますので、修正をしたいと思います。

ありがとうございました。

(委員)

重点目標、基本目標のところですけど、現状分析なり課題整理があった方がいいかと思います。この前段に本市における状況を記載した上で、基本目標はこういうふうにしますよというのを入れた方がわかりやすいと思いました。それから26ページの環境学習、教育の充実ですけど、この中に一般論的には書いてありますが、境港の場合、主要産業が水産業ですので、そういった影響が大きい、だから皆で一緒になって考えましょうという流れに書いていただいた方がいいのかなと思います。

(事務局)

重点目標と基本目標について、このように重点目標の一つと、基本目標三つという構成にしておりますが、前段で会長からも基本目標が4つあって、重点はその中でこれとこれが重点だというような表現にしてもいいのではないかとご指摘を頂いておりますので、それも含めて検討させて頂きたいと思います。それから環境学習について、水産業を絡めていくということで修正させて頂きたいと思います。

(会長)

環境イベントに関して、開催していないので、やりたいというのはもちろん理解しますし、やるにこしたことはないと思いますけど、私もイベントを開催することがあり、結構な労力が必要だったりします。境港市さんも有限の人数で、日々忙しいと思いますし、例えば米子市と共催の形で一体となって、最終的には、中海圏域まで拡大するのが理想形だと思います。

自分のところで立ち上げるとかなり大変なので、既に立ち上がっているものがあれば、そこに乗っかる形でも私はいいと思って、境港市民のためだけではなく、最終的には地球全員

のための話なので、そこに固執して開催することはないと思います。できるところがタッグを組んでやられた方が、お互いのためなのかなと思います。

(事務局)

皆様方から貴重なご意見、ご提言を頂き、ありがとうございます。これまでの中で、少し考えをお話させて頂きたいのと、ひとつお力を拝借できたらと思います。

まず、先ほど農業のことを加えてはどうかというお話を頂きました。水産業の方向に目が向いてしまって、農業というご指摘を頂いてなるほどと思ったところです。書き加えていきたいと思います。農地が再生する、そこに農作物が出来るということは、やはり緑が増えるということで脱炭素のひとつの取り組みだと思っておりますので、そういった市の取り組みも記述をさせて頂けたらと思っております。

それからイベントの開催でございます。今年から米子市と手を組みまして、美保湾・弓ヶ浜の清掃活動を始めました。今年11月14日に境港市を会場として大変多くの方に集まって頂き、遠くは岡山県の方、松江、安来の方もいらっしゃいました。来年度は米子市を会場にやることになっておりまして、こういったものがきっかけで県や中海・宍道湖の圏域を巻き込むというような方向に拡大ができればいいのかなと思っておりました。イベントのところは、おっしゃる通り、そういった方向に持って行きたいと思っております。

そして3点目に皆さんのお知恵を拝借できたらと思います。30ページの市民に求められる行動ですが、市民に今日からでも明日からでも出来ることを一つでも二つでも選んで取り組んで頂きたいとしているのですが、実は、当初は例えばここに、こんなことをするとCO₂がこれだけ一年間で削減されて、家庭の電気代がマイナスになるというような数値の見える化ができないか考えましたが、これだけ多くの項目があるとなかなか統一した数値を出すということが難しく、オープンにするものですから、あまり誤差のある数値を出すことも出来ないということで、こんなことができるじゃないかっていうお知恵があったら、ぜひお力をお貸し頂けないでしょうか。

(会長)

全部に対して書くっていうのは、現実に厳しいかなと思います。実際のところ、ある程度メジャーなところのだけ、例えば1年間やるとこうですよとか、こういう場所に付け加えるだけでもいいじゃないかと思っております。大体親子4人家族の家庭だと、1年間でこれぐらい削減になりますというのがいいじゃないですかね。ここでは何ですけど、CO₂削減より、まだお金面の方が強くあります。1年間これだけやったら、いくらかかりますよとか書いた方がいいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

(委員)

私も先ほど会長の言われた通り全部に書くことは難しいと思いますが、ピックアップして書くことは出来ると思います。例えばこの5番の省エネ家電の導入、9番ゼッチ、10番省エネリフォーム、13番分譲も賃貸も省エネ物件を選択、これに関して言うと、例えば省エネ家電にしてもエアコンにしても冷蔵庫にしても買ったなら10何年間それを使っていく

わけです。だからやるときに考えて欲しい。その1回の選択でその後、10年、20年の省エネができるか、CO2が削減できるかの大事な選択ですよ。そういう呼びかけはできると思います。

(事務局)

ありがとうございます。この部分が非常に悩んだ部分でございます。代表的なところということであれば、できると思いますので、入れてみたいと思います。

(委員)

質問ではないですけども、先ほど、市内の荒廃地の話をされておりました。いわゆる農業の担い手という話でありましたが、市内に結構、市民農園がありますよね。農業の担い手もですけど、やっぱり家族で農業体験をやられる人も多いので、多分、作ってさえもらえれば、そんなに高額な費用なんて必要ないと思います。当然、大規模に農業をやっていただける人がいれば、本当はそれが一番いいことですけども、市民農園の方もまたやって頂いたらよろしいかと思います。

あともう一つ、全国的な海洋環境の関係では日本財団の方が大分力を入れておまして、例えばこういうシーサイドクリーンアップ弓ヶ浜を境港市だけでやると大変なので、米子市とタイアップしてという話もありました。こういうことも日本財団の方はかなり力を入れていきますので、例えば補助事業とすれば財団の方からの補助をもらえると思いますし、また、テレビCMをやりますので、人を呼ぶ効果も出てくると思っております。

それともう一つ持続可能な社会形成の中で、環境学習の話がありましたが、私ども海上保安庁においては、もう古くからですね、小学生に環境学習を教育委員会と調整しまして、境港市内でも行っております。このところコロナの影響で、できなくなっておまして、コロナがなければ通常ずっと行っておりますので、ご承知頂きたいと思います。

(事務局)

まず市民農園の件ですが、こちらであまり把握していないところがありますので、担当課に確認してみたいと思います。

それから日本財団の件、今回私ども、こういった取り組みをした訳ですが、直接ここに問い合わせ、うちの事業の相談をしたことはなかったです。今後、可能であれば問い合わせてみたいと思います。

あと環境学習につきまして、お世話になると思いますので、また一つご協力よろしく願いいたします。

(会長)

市民農園の話で、私、米子市の東福原の産業体育館がある通りに住んでいますけど、あの辺は畑も何もなくなって畑をすることを知らないの、ちょっと遠くのところを借りて、子供たちとサツマイモを作ったりしますが、以外に喜んでます。近所にすぐ行ける場所でできると、多分子供さんがいる家庭だと、意外に手を挙げられると思います。

また質問ですけど、21ページの海浜植物の保全ですが、ハマヒルガオやハマボウフウは、

植物的に絶滅指定とかがあってことがあるのですか。

(事務局)

弓ヶ浜の海浜植物の状況というのは、実はあまりよくわかっていないところありますが、以前に比べて減少していることは事実であると思います。境港ではないですが、米子市の和田で、ハマヒルガオの保全事業をされているという話を伺っておりまして、全国的な事例で言いますと、環境教育に合わせて小学生が種を採取して苗を植えるといった取り組みがありまして、そういった取り組みがここでもできたらなというふうに思っております。

(会長)

植物が増えるのはいいことで、ただ、白砂との兼ね合いもあって、植物が増えると砂の移動も少なくなりますので、国道側に飛ぶのも少なくなるという利点はあると思いました。

あと、次のページの川のごみの話ですが、これはどこの辺でやっていますか。最下流ですかね。

(事務局)

今、2箇所で行っておりまして、地図がないと分かりにくいかとは思いますが、最下流ではなくて、街中に近いところに設置しております。設置の場所は、いろいろ条件がありまして、なかなか設置しづらいところもあります。ある程度水深があって、街中を通ってきて、おそらくごみが入ってくるだろうなというところに設置しています。まだ実験段階ということもありますので、ごみの状況を見ながら、場所を変えていきたいと考えております。

(会長)

今、私がいる研究室で、米子市さんと中海に入ってくるごみって分かりにくいところがあって、加茂川と新加茂川からどれだけごみが流れてきているかという話になって、定点カメラを設置して、写真を取り続けて何十万枚と溜まっているんですけど、それを学生がずっと分別していて、意外にプラスチックは流れてないですね。境港市さんでやられる場合も定点カメラをもっと置いて、そういうデータを見ながらすると、無駄な仕事をしなくていいかなと、撮るなら上流の方がいいので、米川でデータを取るの、いいと思います。設置のいいところを見つけるっていう意味では、ご用命があれば、もちろん協力しますので、検討されればいいと思いました。

あと、アマモの話ですけど、私、瀬戸内で潜ってアマモの調査をしていたことがあるんですけど、アマモにいい環境条件というのが境港市側ではかなり少ないと思います。アマモでブルーカーボンというのは、現実的には、かなり厳しいかなと思います。この辺だと、本庄とかのあたりにオゴノリとか生えますので、具体的にはそういう海藻のほうがいいと思いますが、もちろん育つ段階では吸収してくれていいのですが、その後がないと、より汚くなりますので、オゴノリが死んでそこで滞留すると、全部腐って、全部ヘドロになりますので、上げて海藻肥料にするということをトータルで考えた方がいいのかなと思いました。

(委員)

中海の水質浄化の話で、境港市さんに田んぼがどれくらいあるか分からないのですが、米

子市さんで代掻きの時に栄養豊富な土が、下流に流れると水質汚濁の原因になるので、浅く掻くという農業技術の普及をやっていきますので、境港市さんでも田んぼがたくさんあるならそういうのも一つの方法だと思うのと、ブルーカーボン関連で、磯焼け防止で海藻を海の方に作るっていう研究調査をやっておられますよね。境港の現状はどうですかね。

(委員)

現状は、一文字防波堤に毎年植えてはいるのですが、こういったことになる量ではありませんし、それだったら多分アマモのイベントで毎年アマモを植えているので多分そっちの方が、量的にも多いとは思いますが。

(委員)

長年にわたって頑張っておられるので、せっかくだったらと思ったもので、そのぐらいしか、ブルーカーボンを深掘りできる要素はないじゃないかなと思ったものですから。

(委員)

漁協としては多分、それぐらいのもので実際何ができるのかって言われたらちょっと分からないところです。

(委員)

今のブルーカーボンの話に関して、中野港、竹内が防波堤になっていて、日本海側ほとんどそうですけども、ムラサキウニが非常に大繁殖してですね、テトラポットに山ほどウニがついて海藻が育つような余裕が全くないというような状況で、今朝ちょっと中野の方に寄ってきたのですが、小さいムラサキウニがぎっしりついているのですよね。このウニを何とかしなきゃいけないなっていうのがあります。

それと水道沿いの清水町になるのか、外江になるのか、非常に残念なのは、おそらく釣り人でしょけど、空き缶が何個も落ちています。平気でやっぱり捨てているのです。

(委員)

今のムラサキウニの話で、普通にムラサキウニをとっても、実が入ってないので、これをとってきて、キャベツの切れ端とかを食べさせて養殖するのですよ。これ、県内の何箇所かで始めておられて、境港市ではしておられるか分からないですけど。

(委員)

境港市ではしてないです。青谷くらいですね。1ヶ所くらいですね。

(委員)

三光さんが始めておられなかったですか。取らないと食べられてしまうので、そんな取り組みも出来るかなと思います。

(委員)

なかなかうまくいってないということを聞いています。

(委員)

循環型社会の推進のところで、ごみ処理のあり方の検討と書いてあって、分別方法、手数料のあり方というのがありますが、これは今のやり方とは全然違った方法でやられて、手

数料を取られるのでしょうか。今のところは大体、持っていけば無料で取って頂きますよね。これが手数料を取るということになると、今、段ボールなんかも、ポイント制でポイントカードをもらえるようになっていると思いますけど。

(事務局)

今言われたのは資源になるもので、例えばただで取ってもらったりとか、逆にポイントが溜まったりしますが、ここの手数料というのは、通常の一般家庭から出るごみですね。こちらの方は市の施設に持ち込んだ際に、10キロ当たり178円がかかってきます。米子市さんの方はですね、もう少し高く、他の町村によってもその金額がバラバラでして、その金額も少し合わせていく必要があるのかなというのが一つ。

それから境港市の場合、不燃ごみですね、不燃ごみは月1回収集がありますが、これは集積所に出されると無料で収集していますが、この広域化になる9市町村の中で、無料にしているのは、二つしかなくて、他はみんな有料の指定袋に不燃ごみを入れて出すことになっています。それらも含めて検討していく必要があると思います。

もう一つ分別のことですが、現在皆さんにご協力を頂いて分別して資源化を行っていますが、このやり方も他の市町村とは異なっておりまして、他の良いやり方があれば取り入れたいと思いますし、今回そういった転機になるのかなと思います。

(委員)

事務局に確認ですけれども、今後のスケジュールで1月上旬に議会報告とありますけど、この素案をそのまま出されるのですか。

(事務局)

最後のスケジュールのところでお話ししようと思っておりましたが、ここでご質問がありましたのでスケジュールの話をさせていただきます。本日頂いたご意見を反映させて、それを素案として出したいというふうに考えております。その後、1月中旬に第3回の環境審議会を開催させて頂きまして、修正したものをご審議頂きたいと思っております。そこでご承認を頂きましたら、それを次にパブリックコメントにかけていきたいと思っております。パブリックコメントの方は1月の下旬から2月の下旬にかけて約1ヵ月を想定しております。その後、パブリックコメントのご意見を反映したものを最終的に第4回環境審議会の前に皆さんにご確認頂いて、3月の環境審議会でご答申という形になります。最終的には4月に議会の方にも報告するというを考えております。

(委員)

議員さんも見られるということであれば、ちょっと気になるところがありまして、25ページの環境イベントのところですけど、これまでやってこなかったから、やりますよとすごく前向きなことが書いてあるのですが、指標を見ると現況値が横棒であること、②のところ、市民参加型の総合的な環境イベントを開催していないためと直接書いてありますので、これを逆にみると、これまで何でやってこなかったという話になると思います。会長もおっしゃったように、NPOとか、他の市町村と共同でやったことも、この現況値の中に

入れていいのではと思います。ここに数字があった方が僕はいいと思いますので、無理やりでも入れた方がいいと思います。

(事務局)

確かにそういう面があると思いますので、ご指摘の部分を考えさせていただきます。

(委員)

キャンドルナイトというのは、環境イベントということで、環境衛生課の方にも参加して頂いて、ずっと続けてきているイベントですけれども、総合的な環境イベントっていうところをどう捉えたらいいのかっていうことはあるのですけど、もしよろしければ環境イベントというところに加えて頂いてもいいのかなという気がしながらお話を伺っていたところでした。

(委員)

今の総合的なというところをおっしゃいましたが、例えば総合的なイベント等としたら、いろんなものが入るじゃないですか。

(会長)

ご検討いただければと思います。25ページの目標値についてですけど、いろんな巻き込みとか、県とか米子市さんとかって話があると、多分目標値の設定そのものがちょっと違うのかなと思いますので、また見直しも含めてご検討いただけたらいいのかなと思いました。

(委員)

26ページの環境学習のところ、継続的な環境学習というのは、どういう形ですか、小学校とか中学校で、こういう学習がしたいという、まず要望があって、市役所が、それに答えて、例えばゲストスピーカーとして農協であり、漁業であり詳しい方がおられると思います。そういう繋がりを作っていく役割もあるのかなというのがあります。

もう1点ですが、基本計画で、この境港市の中で、ゲストスピーカーができる人物もたくさんいると思います。そういうことを発掘していくことも、一つ大事なことだと思います。

ネストのことで、例えば地元で工務店さんとか技術者がきつといらっしゃると思うんで、その人達が育っていくのが重要だと思いますし、それを発掘して繋げていくってことも含めて、人を発掘する、育てるってことも、やっぱり基本計画で大事なことになると思います。

(事務局)

環境学習のところですが、継続的な環境学習というのは、想定しておりますのが、今年から始めました市内の小学6年生を対象にした再生可能エネルギーの授業でございます。来年もこれをやっていこうかと思っております。ただし、ご指摘頂いたように、これとはまた別にゲストティーチャーをテーマ絞って招くというようなことも入れていけたらというふうに思います。あと人材の発掘というご意見も頂きました。ぜひ反映させたいと思います。

(委員)

今の環境学習のことですけれども、私が小学生の頃に、日南町に境港市の森があるというのを勉強して、遠足で行ったことがあるのですけれども、日南町にまだ境港市の森があるかと

ということ、それについての学習が今も続いているのでしょうか。

(事務局)

今おっしゃられたのは、境港市が市民の山としております水源涵養林のことだと思えます。境港市はご存知のとおり、半島の先端、砂州の部分ですので、日野川の恩恵を最大限に受けておまして、安田市長の時にこの日野川の恩恵を受けて発展してきた境港市、その水源の涵養ということで、境港市が、山を買って、そこに、木を植えて、地元の森林組合さんだと思えますけれども、管理をお願いし、今でも持っております。市内の子供たちへの水源涵養林の学習がどの程度行われているのか、今、詳しいところは分かりませんが、平成25年に第二中学校を新しくしました。その時にその水源涵養林の木を一部切って、内装材として使っております。第二中学校に行かれることがございましたら、正面玄関に入って、下駄箱のところに、水源涵養林を紹介した大きな看板をつけております。機会がありましたら、ぜひ目を通していただければと思います。

(会長)

一つ気になっていたことを忘れていました。目標値関係で、20ページですけど、猫の不妊去勢手術費補助金で目標値として増やすっていうことに若干違和感があって、もちろん分かるんですけど、根本は捨てさせないことを啓蒙するということが目標であって、件数を増やすのは、しょうがなくやることですので、大前提の目的はここじゃないと思うので、単純に考えると、どんどん件数を増やしてってという目標設定になるので、この目標設定というのはちょっと違うかなと思いました。

(事務局)

確かにおっしゃる通りこれが本来無いほうがいいというものですが、現状、市内全域にかなりの数の飼い主のいない猫がいて、我々の方にもかなりの数の苦情が寄せられている状況であります。当面はこの補助というのを続けていって、環境保全を図っていきたいということではあります、ご指摘の点もありますので、言葉を加えろとか、見直すかというのを考えたいと思います。

(足立委員)

下ノ川のごみをネットで取るというのがあるんですけど、私も下ノ川を毎日見ているんですけど、たまにポイ捨てのごみが、レジ袋の白い袋に入ったのが流れていくことがあるんですけど、そんなにごみは見られないです。ただ夏に水が少ないと川が藻というより泥のようなものになってしまって、すごく汚くなる。前は、年に2回ぐらい清掃して頂いたんですけど、最近は、1年に1回も無いじゃないかなと思います。ただ、その川に、ボラの子がすごく上がって来るのですよね、毎年ものすごい数で。それがその藻を食べて成長して、ある程度大きくなってから海の方へ出ると思うんですけど、毎年来るってことはそんなに環境が悪いのではないのかと思うんですけど、いかがなものでしょうか。

(会長)

私、中海の環境調査で、ボラもたくさん見てきましたけど、かなり汚いところに強いので、

中海でとったボラはまあまあの臭いします。例えば米子市だと、下水処理場、彦名の辺に処理場があるのですが、そこでいっぱい泳いでいます。汚い綺麗に関係なく、彼らは相当強いので、いたるところにいます。中海全体として見ると、普通の魚の方がむしろ住めない環境に近いので、ボラかスズキしかいないというぐらい、魚種も限られています。なので、藻を食べてくれるのは、いいと思います。よし悪しはありますけれど、魚はいてくれていいと思います。

(会長)

そうしましたら、ご意見をたくさんちょうだいしましたので、境港市の環境基本計画の素案につきまして、皆様から頂いた意見を反映して、次回の会議に修正案を事務局より提出して頂くということによろしいでしょうか。賛成の場合は拍手でお願いをしたいと思います。

【拍手】

ありがとうございました。それでは、皆様にご承認頂きましたので、事務局は次回の会議までに修正作業等をお願いいたします。

(3) その他

- ・事務局より、次回会議の日程調整をお願いした。

4 閉会